



タクシーの行方

すずき ようこ
鈴木 庸子

ナポリオリエンターレ大学・政治学部・講師

イタリアのタクシーは、全てが個人タクシーである。この運転手になるには、日本の2種にあたるB免許を取得、州の職業能力試験に合格した上で、営業する市町村から営業許可を購入、またはこれを所持している個人から購入あるいはリースする。この営業許可を得た市町村外での営業は基本的に禁じられており、例えばA町から客の目的地であるB町までの営業は可能だが、B町で別の客を乗車させることはできない。都市部では市の管轄で24時間のサービスが保証されているが、地方では往々にしてその限りではない。

この一月、モンティ首相率いる新政権が財政立て直しに向け、一連の自由化案を発表した。その一つに、タクシーの営業許可が挙げられていた。このニュースが広まるや否や、ローマやトリノ等の都市部で、労組指定のスト日を無視した、タクシー運転手による自発的非合法ストが勃発した。中でもナポリは、最も重要な広場を441台のタクシーが占拠すると同時に、無期限ストに突入。結局政府が営業許可自由化の決定権を市町村に預けることとし、これを受けたナポリ市長が現状維持の意向を表明した時点で終息したが、この間なんとほぼ8日間にわたり、2,400人の運転手が一致団結して腕組みをしたのである。ストには慣れっこのイタリア人にもこれは予想外の事態で、最初はたかをくくっていた私も、連日ニュースを睨んでは予定変更を繰り返させられた。

この非合法スト終息直後、ナポリ近郊で何台かのタクシーにお世話になった際、このストの主役

脇役3人が、束の間私につぶやいた胸のうちはこうである。

1. スト終結翌日、ナポリのタクシー運転手

「仕事でいらした外人さんが、ホテルから動けなくて往生しはった？そらあ、面目ない。でも、今回のストには、我々の将来がかかってましてん。堪忍ねえ。

お客さん達も大変な思いしはったでしょうけど、うちらは一週間以上おまんま食いあげでっせ？このご時勢、こんな無茶するのは、ほんまのアホか本気かでしょう？我々の本気をわかってもらうには、こうするしかなかったんですわ。

結果は、満足です。市長はうちの味方ですから。勿論、話を変えへんかチェックは続けますけど、ひっくり返しはせえへんでしょ。

だって、ナポリのタクシー営業許可、市は10年も出してませんけど、相場で何ぼするか知ってはります？15万ユーロ（約1,600万円）でっせ。営業区域拡大なんて話が、自由化案に入りましたやろ。そんなんされたら、県内の業者がもろ手を挙げてここになだれ込むの、目に見えてますやん。それって、人より羊のほうが多い寒村で、桁が一個少ない額で営業許可を取った運転手と、この町で仕事するのに借金して、漸く手にした許可証を毎晩抱いて寝てるナポリの若い運転手と、同じ土俵に立てってことでっか？そんな殺生な。

ゴミ問題のお陰で観光客は減ったし、地下鉄が広がるにつれ地元のお客さんも減るばかり。今



でも800台は余剰やて言われてるのに、自由化で営業権乱発されたりしたら、もう、血い見まっせ。で、結局しわ寄せはお客さんに行って、値上げでしまいですわ。

せやから、お客さんにとっても、絶対物事変われへん方がええですよ。

はい、着きました。あのう、このストでほんま、自分でもびっくりするくらいすかんぴんですねん。コーヒー代、おまけしてくれたら嬉しいんですけど・・・」

2. 数日後、ナポリに隣接した

町のタクシー運転手

「我々はストはしませんでしたが、仕事量は変わりませんでしたねえ。僕ら観光地でもない地方のタクシーには、リハビリに通う人とか、毎週お墓参りするお年寄りとか、限られたお得意さん以外の仕事、殆どありませんから・・・ああ、一人だけ、面接でパリに行かなきゃならないって言う女の子に泣きつかれて、ナポリ空港まで送りました。ただし、あそこは高速を出てすぐですから、そこ（高速の出口）までって約束で。あんなストの最中に、お客さん乗せて空港なんか近づいたら、どんな目にあったことか。幸い彼女はキャリア一つだったし、空港まで歩いて10分もかからなかったでしょう。僕？すっ飛んで帰りましたよ。どうせ我々の営業免許では、ナポリでは仕事できませんし。

自由化、僕は賛成なんです。まず、絶対利用者の得になる。奥さんの場合もほら、走行距離はち

よっとだけど、行き先が隣町だから、僕は倍料金をお願いしなきゃならない。でも、市町村ごとの営業権なんて、小さい町だらけの地方、特に我々みたいに大都市に隣接してる町には、馬鹿げた話です。例えば空港まで、15分の乗車でメーターが25ユーロを指してるのに「50ユーロお願いします」でしょう？同じ15分の走行でも、ナポリ市内が出発点だったら25ユーロなのに。この往復料金制度を知らない外人さんの中には、騙されたって怒り出す人もいます。イタリア人だって、払いながら割高感を感じてる。これって、タクシー嫌いを育てる温床ですよ。安かったら、もっと気軽に使ってもらえるのに。

僕たち運転手も、働けるテリトリーが広がるから、がんばれば今よりずっと稼げるだろうし。観光客もビジネス客もいるナポリの仕事量は、桁違いですから。

ここでいいですか？これ、僕の名刺です。いつでも呼んで下さいね。今日はおまけもしちゃいますから、どうぞ宜しく」

3. 車でナポリに通勤する友人

「タクシーのいないナポリ、最高。あの傍若無人な運転をする奴らがいらないから、運転しやすいの何の。スト、もっと続けてくれたら良かったのに・・・」

広場を占拠したタクシーの運転手に対しては、現在公訴が提起されている。